

りんご販売担当者会議



6月3日、本所フルーツステーションにおいて取引市場18社、全農あもりを招いて「りんご販売担当者会議」が開催されました。

大場組合長より昨年度のリンゴ販売に対してのお礼とこれから販売する有袋ふじやシナノゴールド、有袋ジョナについて引き続きお願いしたいと挨拶をしました。

東京青果(株)諏訪満果実部部長より令和6年産の状況と令和7年産への販売についての抱負を述べて頂きました。



6年産りんごについてお礼を述べる

雪見舞金の贈呈式



6月5日、当農協役員室にJA青森中央会の乙部輝雄会長が訪問されました。

昨年から続く記録的な豪雪の影響は、青森県に深刻な被害をもたらせました。相馬地区も例外ではありません。

このような雪害による被害の復興支援のために、当農協の大場勉組合長に見舞金の目録を手渡されました。

「大事に使わせていただきます」と述べられました。



雪害から回復に向けて受け取りました。

わい化研究会  
青空教室



6月9日、相馬村わい化栽培研究会において、県りんご剪定士の3名を講師として招き、夕方青空教室を実施し、23名が参加しました。

農業振興課職員より今年の生育状況の説明を受け、2月に剪定セミナーが行われた園地で摘果作業や新たに植えた苗木の作業進行について実体験を交えた講義が行われました。研修に参加した中嶋美保子さんは、剪定セミナーと摘果講座が同園地で行うことで経過を直接見ることができ、その後の作業をどのように進めるかが理解しやすかったと述べていました。



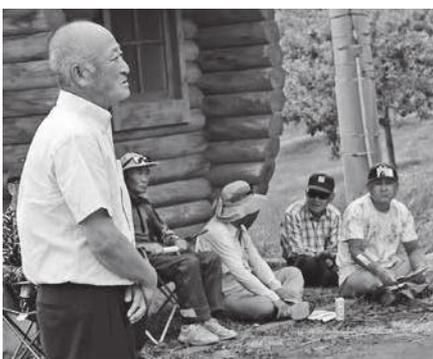
実すぐりを学ぶ生産者

第3回 巡回講座



6月16日、管内12ヶ所で巡回講座を実施し、103人の生産者が参加しました。

農業振興課からは今後の作業や病害虫対策、極早生品種における収穫前の薬剤散布について説明があり、普及振興室からは熱中症対策についての情報が提供されました。全農あもりからはニュージラード産リンゴの売り場が広がり、青森県産リンゴの売り場が狭くなっていく現状について述べられました。最後にJA常勤役員からは6年産リンゴの生産動向と晩生種の精算についての説明がありました。次回は8月を予定しています。



日頃の感謝とリンゴの精算状況について話しました。

女性のための  
摘果講習会



6月18日、五所地区において地域の女性を対象とした『仕上げ摘果講習会』が開催され、15名が参加しました。

講師を務めた田澤俊明さんは、「今年は花が多いが、マメコバチの減少や開花時期の寒さなどで授粉が上手くいかず、カラマツ（不受精）になっている。せつかく多く咲いた花も新梢部分も落ちてきている。落ちたせいで摘果が楽になったのでは…」と中心果が結実していない場合は、大きな側果を残して収量の確保をして欲しい」とも話しました。今回初めて参加した方は、「勉強になりました。放送でこつした講習会が行われるのを知り家族に勧められて来ました。品質の良いりんごを作るために、今日学んだことを活かしたい。また参加したいです。」と今後の農作業に対する意欲を示していました。



話に耳を傾ける参加者さん  
動画撮影で復習です



この機会にいろんな質問  
聞きましょう♪



今年度の状況を話す  
大果 平川課長

6月20日、管内2か所において晩生種リンゴの精算報告会が開催されました。本所では、大場組合長が6年産リンゴに関する感謝の意を表し、これまでにない売上を報告しました。また、有袋ジョナヤシナノゴールドは仮精算の段階にあるため、8月に追加精算が行われることも伝えました。

その後、大果大阪株の平川課長が販売状況について説明し、年内は順調に高値で推移しました。大阪万博を契機に消費拡大を見込んでいる一方で、入場者の果物離れが感じられると述べました。7年度産リンゴもしっかりと販売するので、1ケースでも多く出荷してほしいと意気込みを語りました。

6年産晩生種リンゴ  
精算報告会



いつも以上にキレイにするぞー

6月27日、本所フルーツステーションにおいて昨年より1ヶ月遅れでコンテナの洗浄が始まりました。ゴミを取り除き、一箱ずつ温水で洗浄していきます。7月末頃までに洗浄を終えて保管を行います。

個人コンテナの洗浄は7月28日〜30日まで受付を行い、31日から洗浄を開始。キレイになったコンテナは8月4日より順次引き渡される予定です。

こつした作業が完了すると、いよいよ極早生から令和7年産のリンゴが始まります。

コンテナ洗浄始まる

